

環境会計

企業が取り組んでいる「環境保全活動に関する費用と効果」を数値化することで、環境保全の取り組みを会計を通して評価する手法が、環境会計です。

環境保全コスト

2023年度は、PETボトル製品の製造ライン設備であるエレクトロン・ビーム殺菌システムの更新など、既存設備の見直しを中心に省エネ対策を実施し、GHG削減に取り組みました。また、コカ・コーラのグローバル目標である「World Without Waste」活動に基づき、回収したPETボトルの「ボトルtoボトル」水平リサイクルを推進し、社会全体の「GHG排出量削減」、「廃棄物ゼロ社会」を目指して取り組みを継続、拡大していきます。

マテリアルバランス

事業活動で必要とされる資源とエネルギーの量（インプット）と、それに伴う廃棄や排出量（アウトプット）の関係を表したものがマテリアルバランス（物質収支）です。当社では生産活動における環境負荷を把握した上で、これらの削減に積極的に取り組んでいます。

（単位：千円、税抜）

項目	主な取り組みの内容	2022年		2023年	
		投資額	費用額	投資額	費用額
1.事業エリア内コスト		計 20,380	154,466	106,310	159,570
(1) 公害防止コスト	工場排水処理 他	3,500	35,556	36,053	37,014
(2) 地球環境保全コスト	工場節水設備・省エネルギー設備 他	16,880	25,664	70,257	27,016
	自動販売機のフロン回収・破壊	0	7,218	0	6,239
	ハイブリッド車のリース費用	0	21,352	0	19,369
(3) 資源循環コスト	各事業所の廃棄物の処理・リサイクル	0	63,976	0	69,071
	自動販売機の処理・リサイクル	0	700	0	861
2.上・下流コスト		計 0	91,352	4,360	85,226
	空容器の回収・リサイクル	0	25,627	0	25,835
	空容器回収ボックス・空容器回収用ポリ袋	0	23,656	4,360	30,289
	再商品化実施委託料	0	42,069	0	29,102
3.管理活動コスト		計 0	25,189	0	26,367
	環境負荷の測定	0	18,150	0	19,899
	EMS構築・運用、環境コミュニケーション	0	7,039	0	6,468
4.社会活動コスト		計 0	14,893	0	15,805
	業界団体活動、環境支援活動 他	0	14,393	0	15,305
	本社構内緑化保守	0	500	0	500
	合計	20,380	285,900	110,670	286,968

インプット

- ・製品をつくる水
- ・原材料
- ・製造工程や製品の配送
- ・営業活動
- ・事業所、オフィス、物流倉庫、自動販売機が使用するエネルギー

原材料 39,098t	ガソリン 505 kℓ
水 1,160千m ³	軽油 2,712 kℓ
電気 66,382千kWh	灯油 351 kℓ
天然ガス 4,626千m ³	重油 9 kℓ
LPG 78千m ³	

アウトプット

- 製品 228千ℓ
- 水 932千m³
- CO₂ 47,947t-CO₂
- NO_x 60.4t
- SO_x 2.5t
- 廃棄物 9,855t

札幌工場
リサイクル量 5,825t
※ゼロ・エミッション達成中

※CO₂ 二酸化炭素、NO_x 窒素酸化物、SO_x 硫黄酸化物

回収・リサイクル

- 缶・PETボトルのリサイクル
- 空容器回収・リサイクル量 1,690t
- ダンボール回収・リサイクル量 1,357t

メガロボットファーム (Kalm角山) との協働取り組みを実施

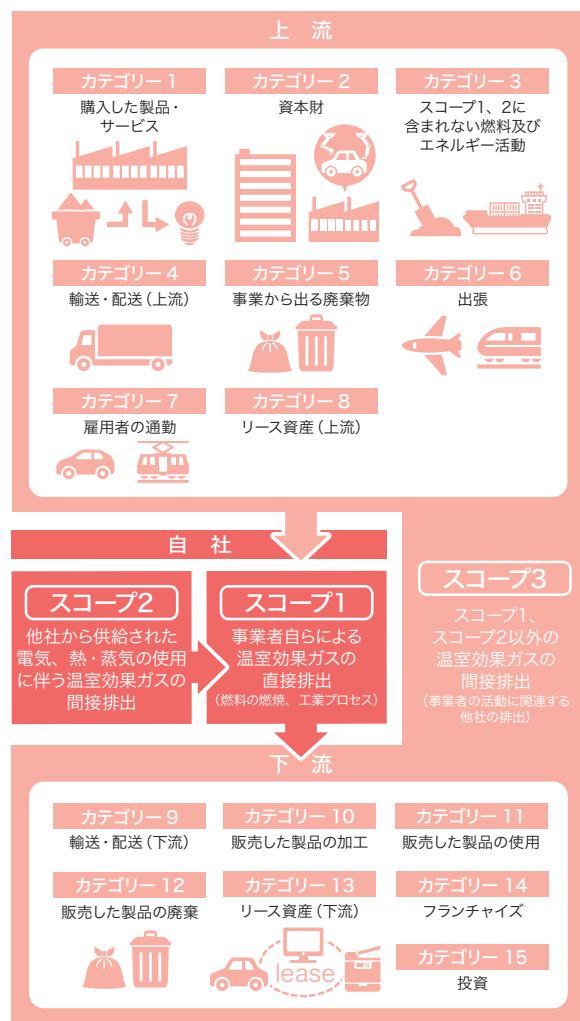
札幌工場より排出されるコーヒー粕は産廃処理によりたい肥化していましたが、2020年8月より江別にあるKalm角山で牛の敷き藁として活用し、使用済みの敷き藁は先方のバイオマス発電原料としての活用しています。

江別市角山の農業企業 (株)カーム角山

Kalm

スコープ別GHG排出量実績及び算定方法

当社が燃料の燃焼や製造過程で排出する温室効果ガス(スコープ1)と、他社から供給される電気や熱などの使用による間接的な排出(スコープ2)に加えて、企業活動の上流(調達)と下流(出荷以降)における、関連他社の排出(スコープ3)までを算定します。



スコープ	項目	排出量実績 (t-CO ₂)			算定方法	
		2015年	2022年	削減率	活動量	原単位
1・2	事業者自らによる温室効果ガスの直接排出	20,642	18,397	-20.2%	オフィスやセールスセンター、工場、物流などの燃料使用量	都市ガスは各ガス事業者公表の排出係数、その他の燃料は「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「算定・報告・公表制度」における算定方法・排出係数一覧に記載された排出係数を採用
	他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出	17,829	12,291		オフィスやセールスセンター、工場、物流などの電気使用量	対象年度の「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用) 環境省・経済産業省公表」に記載された各電気事業者の排出係数を採用
スコープ1・2 合計		38,471	30,688			
3	1 購入した製品・サービス	80,909	69,435	-33.0%	原材料・資材の調達量(重量ベース)	ザ コカ・コーラ カンパニーによるEmissions Factorsに基づく
	2 資本財	10,425	3,413		固定資産額(有形・無形)の当年度新規取得額	サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース(Ver.3.1)に記載された資本財の価格あたり排出原単位
	3 スコープ1、2に含まれない燃料及びエネルギー活動	3,343	2,950		燃料・電気・熱の使用量	サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース(Ver.3.2)に記載された資本財の価格あたり排出原単位
	4 輸送、配送(上流)	2,985	1,157		外部委託の輸送による燃料の使用量	「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「算定・報告・公表制度」における算定方法・排出係数一覧に記載された排出係数を採用
	5 事業から出る廃棄物	947	1,313		廃棄物処理・リサイクル委託重量	サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース(Ver.3.4)に記載された資本財の価格あたり排出原単位
	6 出張	195	50		社員の出張に伴う支払費用	サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース(Ver.3.5)に記載された資本財の価格あたり排出原単位
	7 雇用者の通勤	325	354		社員の通勤に伴う支払費用	サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース(Ver.3.6)に記載された資本財の価格あたり排出原単位
	8 リース資産(上流)	-	-		-	-
	9 輸送、配送(下流)	-	-		-	-
	10 販売した製品の加工	-	-		-	-
	11 販売した製品の使用	-	-		-	-
	12 販売した製品の廃棄	833	884		容器包装リサイクル法に基づき申請した容器包装のリサイクル重量	サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース(Ver.3.6)に記載された資本財の価格あたり排出原単位
	13 リース資産(下流)	55,961	24,893		販売機材(飲料自動販売機等)の電力使用量	対象年度に稼働していた自動販売機等の年間電力使用量合計値に、電気の排出係数を乗じて算出(電気の排出係数は対象年度の「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用) 環境省・経済産業省公表」の代替値を採用)
	14 フランチャイズ	-	-		-	-
	15 投資	-	-		-	-
スコープ3 合計		155,923	104,449			
スコープ1・2 + スコープ3 合計		194,394	135,137			